

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	34-1
PDCA	主要事業名	文化財保護事業	部課名	教育部博物館	担当	尾関	
					内線	23-7173	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と継承 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 6,653 千円 会計 一般会計 歳出科目 09.05.01.04.01 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円						
	事業概要等	事業概要： 文化財専門委員会の運営及び諮問、文化財指定候補の調査研究を行うとともに、指定文化財の保存伝承に要する経費への補助を実施します。 また、博物館を拠点とした文化財に関する展示や講座、情報発信を通じ、文化財保護の啓発を行います。					
		事業目的： 文化財の保存活用を図り、貴重な文化財の保存継承と市民の郷土の歴史文化に対する理解を深めます。					
		事業内容： 文化財専門委員会の運営及び諮問、文化財の指定候補の調査研究、指定文化財の保存継承に係る補助事業等を行います。					
		問題点・課題等： 引き続き、市内の文化財指定候補の調査研究を進めるとともに、保存伝承に要する経費への補助を実施します。					
	予算額	主要事業とする理由					
	6,653 千円	文化財の保存継承を図り、郷土の歴史文化に対する理解を深めることは、地域文化の振興にとって重要な事業です。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	半田の文化の振興と継承に大きく寄与し、豊かな地域文化を築くことができるとともに、シビックプライドを高めることにつながります。					
	6,441 千円						
国費							
0 千円							
県費							
0 千円							
その他							
212 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	6,086 千円	文化財専門委員会による専門性の高い助言、適切な補助金交付により、半田の文化の振興と継承に大きく寄与することができました。 また、文化財よもやま話を開催することで、郷土の歴史文化への理解を深めることができました。					
		成果指標					
		令和3年度				単位	
	文化財よもやま話1回あたりの参加者数	実績値	20	人			
	(定員を50名から24名に減らして実施)	目標値	38	人			
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 文化財専門委員会を定期的に開催し、文化財の保存継承方法や候補物件についての専門的な助言を得るなど、適切な運営を行うことができました。 また、地域に点在する文化財の現状を把握し、大池古窯の清掃を始め、高札の更新や新設、文化財カードの配付を行いました。 文化財よもやま話は、人数制限・消毒・換気等の徹底により、コロナ禍でも開催可能な手法を取り入れて実施しました。 文化財の価値や魅力への理解、愛着は、見て、感じることで育まれるため、コロナ禍でも実施可能な方法で情報を発信し続けていくことが必要です。					
A 今後の課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 文化財の保護には、市民が半田の歴史・文化に誇りと愛着を持ち、保存継承の必要性について理解してもらうことが重要です。 半田の各種文化・文化財について、親しみやすい内容での講座を行うとともに、ホームページを活用した情報発信にも取り組んでいきます。 また、引き続き有形・無形文化財および伝統文化、民俗芸能の保存継承を担う団体への補助をしていくことで、半田の文化を保護していきます。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	削減余地	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用